

日に実施した。これと、入学選抜学力検査の結果（数学・英語）とから入学時における学力をとらえた。

イ. 高等学校1年終了時における学力検査の実施
 高等学校入学時における学力は、高校における学力の習得の可能性についての子測値と見なすことができるという仮定に立つて、高校における学力の形成要因を追求するため、高校1年終了時における学力検査を昭和41年2月23日～25日までの間に実施した。

ウ. 学力検査問題の内容

高等学校1年終了時における学力検査問題は高等学校の指導要領と教科書の分析研究を行ない、終了時における学力をとらえ得るように全領域にわたり、基本的な重要内容を配した。なお、全国の学力水準との比較において本県の高校の学力の実態をは握するとともに、入学時の学力との比較も考えて教研式全国標準学力検査問題用紙を併用した。

② 数学、英語の学習に対する意識調査

ア. 入学時における学習に対する意識調査の実施
 高等学校における教科書に対する学習の構えの変化の状態および、授業に対する意識、学習の困難点を明らかにするため、入学時と高校1年終了時とにおいて学習に対する意識調査をし、それらを比較検討することにした。実施期日は、第1回、昭和40年5月13日、第二回、昭和41年2月23日～25日であった。

ア. 意識調査の内容

調査の項目は次のとおりである。

㊦ 基礎資料

- ・ 高校卒業後の進路の希望
- ・ 教科書に対する好嫌、得意、不得意教科

㊧ 授業に対する意識

入学時には中学校における数学、英語の授業のあり方をどう受けとめているか、高校1年終了時には高校における数学または英語の授業をどう受けとめているか、を調査する。

- ・ 授業の進め方について
- ・ 学習方法についての配慮
- ・ 学習の関連づけについて
- ・ 練習問題のさせ方
- ・ 家庭学習への配慮

㊨ 家庭における学習状況

- ・ 学習時間
- ・ 家庭学習の方法
- ・ 家庭学習の障害

㊩ 数学または英語に対する意識

- ・ 困難性に対する意識
- ・ 有用性に対する意識
- ・ 学習に対する構え

㊪ 高校における数学または英語の学習上の困難点

③ 授業分析研究

授業を詳細に記録し、生徒の学習への参加の状況、教材に対する理解の状況をとらえ、授業を教

材に対する理解の面から分析研究し、授業過程の検討を行なう目的をもって、昭和40年6月22日と24日両日にわたり、数学、英語についての授業記録をもとにして授業研究を行なった。

(4) 研究の結果

この研究は3ヵ年間継続研究で、本年度はその第一年次である。したがって、研究の結果を結論づけることができないので調査した内容の一端を記載する。

① 数学に対する生徒の意識調査

数学または、英語について、授業の面から、この教科書に対する意識、家庭学習のあり方などについて質問紙によって調査した。その結果数学における目立っている事項についての反応状況をあげる。

ア. 授業に対する意見（数学の授業）

調 査 内 容	項 目	反 応 率
・ 授業では、説明のあとでわからないところを質問させる時間をとることが多かった。	ア	73.6%
	イ	9.2
	ウ	16.9
	ム	0.3
・ 新しく習ったことについて、問題をなるべくたくさん練習させる方法がおもだ。	ア	60.4
	イ	8.1
	ウ	31.3
	ム	0.2
・ 基礎的な公式や法則がわかるように説明してくるので、むずかしいと思わなかった。	ア	42.7
	イ	10.2
	ウ	46.6
	ム	0.5
・ 基礎的な考え方は先生が教えてくれるが、問題の解き方は、生徒に考えさせるように進められた。	ア	57.7
	イ	14.3
	ウ	27.9
	ム	0.1
・ 学習内容（問題）のたいせつな点を指示してくれたので、勉強しやすかった。	ア	57.5
	イ	8.9
	ウ	33.4
	ム	0.2
・ 法則や公式など新しいことを学習するとき、前に習ったこととの関係がわかるように教えてくれた。	ア	61.7
	イ	7.0
	ウ	31.2
	ム	0.1
・ 予習や復習のしかたを具体的に教えてくれた。	ア	18.3
	イ	40.3
	ウ	40.6
	ム	0.8

イ. 数学に対する意見

調 査 内 容	項 目	反 応 率
・ 数学の問題は考え方さえ身につけておけば問題は解けるものだ。	ア	59.7%
	イ	12.0
	ウ	27.2
	ム	1.0
・ 理工科関係以外のたいていの職業では、数学はあまり必要ではない。	ア	7.0
	イ	65.5
	ウ	26.3
	ム	1.0
・ むずかしい数学でも、うまく教えさえすればたいてい理解できるようになるものである。	ア	64.1
	イ	7.1
	ウ	27.9
	ム	0.9

注 項目の欄のア イ ウ ムは、調査質問に対する選択肢で次の意味をあらわす記号である。

ア はい イ いいえ
 ウ ・ どちらでもない。ム 無答